

# 船舶事故調査報告書

令和元年7月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |   |
|-------------|---|
| 事故種類        | 乗揚  |
| 発生日時        | 平成31年3月9日 02時34分ごろ  |
| 発生場所        | 石川県能登町御舟埼東岸<br>能登小木港元小木防波堤灯台から真方位242°510m付近<br>(概位 北緯37°17.6′ 東経137°13.4′)  |
| 事故の概要       | 漁船第6喜代丸は、漂流中、干出浜（岩）に乗り揚げた。  |
| 事故調査の経過     | 平成31年3月12日、主管調査官（神戸事務所）を指名<br>原因関係者から意見聴取実施済  |
| 事実情報        |   |
| 船種船名、総トン数   | 漁船 第6喜代丸、4.03トン   |
| 船舶番号、船舶所有者等 | IK3-10719（漁船登録番号）、個人所有  |
| 乗組員等に関する情報  | 船長、一級小型・特殊・特定   |
| 負傷者         | なし  |
| 損傷          | 船底外板に亀裂及び擦過傷、舵に折損、プロペラ翼に曲損  |
| 気象・海象       | 気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 1、視界 良好<br>海象：うねり 波向南、波高約0.3m、潮汐 上げ潮の末期  |
| 事故の経過       | 本船は、船長が1人で乗り組み、御舟埼東方沖の距岸約20～30mでのたこがごの引揚げ後に漂流し、船長が前部甲板でかごの片付け作業に没頭していたところ、南方からのうねりに圧流され、北方の干出浜（岩）に乗り揚げた。<br>船長は、天候が悪化する予報を入手し、日出後に行う予定であったかごの引き揚げを急ぎよ行うこととし、初めて夜間に出港した。 |
| 分析          | 本船は、漂流中、船長が意識を集中してかごの片付け作業を続けていたことから、南方からのうねりに圧流されていることに気付かず、干出浜（岩）に乗り揚げたものと考えられる。  |
| 原因          | 本事故は、夜間、本船が漂流中、船長が意識を集中してかごの片付け作業を続けていたため、南方からのうねりに圧流されていることに気付かず、干出浜（岩）に乗り揚げたものと考えられる。   |
| 再発防止策       | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。<br>・夜間に操業を行う場合は、風波の影響を考慮し、作業に意識を向け過ぎることなく、船位の確認を適切に行うこと。   |